

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月13日

上場会社名 新日本理化株式会社

上場取引所 大

コード番号 4406 URL <http://www.nj-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 藤本 万太郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務本部長 (氏名) 加藤 純

TEL 06-6202-6598

四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	6,002	△32.8	△510	—	△466	—	△481	—
21年3月期第1四半期	8,928	—	150	—	278	—	212	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△12.90	—
21年3月期第1四半期	5.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	29,577	10,710	36.2	286.98
21年3月期	31,282	10,640	34.0	285.10

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 10,702百万円 21年3月期 10,632百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	13,200	△26.9	50	△89.5	80	△87.0	70	△81.9	1.88
連結累計期間	26,400	△14.2	110	—	130	—	110	—	2.95

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 - ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第1四半期 | 38,008,906株 | 21年3月期 | 38,008,906株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第1四半期 | 715,328株 | 21年3月期 | 714,810株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第1四半期 | 37,293,775株 | 21年3月期第1四半期 | 37,300,477株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想、見通し等は、作成時における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により、実際の業績が異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、公共投資や在庫調整の進捗により、景気は下げ止まりつつあるものの、民間設備投資や個人消費の落ち込みが続き、引き続き厳しい状況で推移しました。

化学業界におきましても、需要の低迷と円高、また、原油・ナフサ価格が上昇に転じたことによる石油化学原料の上昇により、採算面では厳しい状況が続きました。

このような環境のなか、当社グループにおきましては、需要低迷の環境下ではありますが、国内外での販売増を図るほか、継続して生産の合理化、徹底した固定費・諸経費の削減及び高付加価値製品の拡販による採算確保に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は60億2百万円（前年同四半期比32.8%減）となり、収益面では、営業損失5億1千万円（前年同四半期は1億5千万円の営業利益）、経常損失4億6千6百万円（前年同四半期は2億7千8百万円の経常利益）、四半期純損失4億8千1百万円（前年同四半期は2億1千2百万円の四半期純利益）を計上する結果となりました。

事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 油脂製品セグメント

脂肪酸・グリセリン等の油脂製品部門では、工業用途分野への販売が回復しないなか、子会社である千葉脂肪酸株式会社の製品の取扱いにより販売数量は増加しましたが、原料価格下落に応じた価格是正を行ったため、売上高は減少いたしました。

アルコール製品部門では、生活関連分野における国内外販売が堅調に推移したことにより、販売数量は微増しましたが、売上高につきましては価格是正を行ったことに伴い減少となりました。

以上の結果、油脂製品セグメントの当第1四半期連結累計期間の売上高は24億9百万円（前年同四半期比23.7%減）となりました。

② 石化製品セグメント

石化製品セグメントにおける化成品部門におきましては、可塑剤市場は最悪期を脱したものの、需要家の工場稼働率が低迷するなか、輸入品の流入もあり、販売数量、売上高とも大幅に減少いたしました。

ベンゼン誘導体につきましては、自動車関連分野の回復が遅れ、販売数量・売上高とも大幅に減少いたしました。

機能製品部門では、住宅設備向けが低迷する中、自動車、電機分野において一時的な好調が見られましたが、その後は安定基調に転じました。また輸出では電機分野における需要回復の影響もあり、販売数量は大幅に増加しました。

樹脂添加剤は、国内販売が緩やかな回復基調となりましたほか、欧州向けに好調な輸出が続きました。

以上の結果、石化製品セグメントの当第1四半期連結累計期間の売上高は35億9千2百万円（前年同四半期比37.8%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前年度末比△5.4%、金額で17億4百万円減少の295億7千7百万円となりました。

流動資産につきましては、主として棚卸資産の減少により前年度末比△14.7%、金額で23億6千万円減少の136億9千6百万円となりました。固定資産につきましては、投資有価証券の評価差額の増加等により前年度末比+4.3%、金額で6億5千6百万円増加し158億8千1百万円となりました。

流動負債につきましては、短期借入金の減少等により前年度末比△22.1%、金額で28億3千9百万円減少の99億8千万円となりました。固定負債につきましては、主として長期借入金の増加等により前年度末比+13.6%、金額で10億6千4百万円増加の88億8千7百万円となり、負債の部合計では、前年度末比△8.6%、金額で17億7千4百万円減少の188億6千7百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純損失を計上しましたものの、評価・換算差額等の増加により前年度末比+0.7%、金額で7千万円増加の107億1千万円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は36.2%、1株当たり純資産額は286円98銭となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、需要回復の兆しが見られるものの、引き続き厳しい市場環境が続くと予想されます。

当社グループにおきましては、継続して生産の合理化、徹底した固定費・諸経費の削減及び高付加価値製品の拡販に努め、収益力を高める所存であります。

なお、経済動向不透明であり、平成21年5月15日に発表いたしました業績予想の修正は行っておりません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,478	1,782
受取手形及び売掛金	7,750	8,031
商品及び製品	2,006	2,738
仕掛品	1,401	1,842
原材料及び貯蔵品	926	1,439
その他	142	236
貸倒引当金	△8	△14
流動資産合計	13,696	16,056
固定資産		
有形固定資産	7,955	8,128
無形固定資産	266	284
投資その他の資産		
投資有価証券	7,172	6,280
その他	488	532
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	7,659	6,811
固定資産合計	15,881	15,225
資産合計	29,577	31,282
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,441	4,064
短期借入金	4,677	6,941
未払法人税等	9	33
賞与引当金	30	100
その他	1,820	1,679
流動負債合計	9,980	12,819
固定負債		
長期借入金	6,189	5,397
退職給付引当金	1,823	1,826
役員退職慰労引当金	12	13
その他	862	585
固定負債合計	8,887	7,822
負債合計	18,867	20,642

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,660	5,660
資本剰余金	4,246	4,246
利益剰余金	1,023	1,504
自己株式	△168	△168
株主資本合計	10,762	11,244
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	884	384
繰延ヘッジ損益	△32	△31
為替換算調整勘定	△913	△964
評価・換算差額等合計	△60	△611
少数株主持分	8	7
純資産合計	10,710	10,640
負債純資産合計	29,577	31,282

(2)【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	8,928	6,002
売上原価	7,643	5,601
売上総利益	1,285	400
販売費及び一般管理費	1,134	910
営業利益又は営業損失(△)	150	△510
営業外収益		
受取配当金	74	57
持分法による投資利益	51	32
為替差益	42	1
その他	6	19
営業外収益合計	175	109
営業外費用		
支払利息	45	50
その他	1	15
営業外費用合計	46	66
経常利益又は経常損失(△)	278	△466
特別損失		
固定資産除却損	2	2
投資有価証券評価損	11	—
会員権評価損	—	3
その他	0	0
特別損失合計	14	5
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	264	△472
法人税、住民税及び事業税	57	4
法人税等調整額	△5	3
法人税等合計	52	8
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	0
四半期純利益又は四半期純損失(△)	212	△481

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	264	△472
減価償却費	260	292
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△5
賞与引当金の増減額(△は減少)	△179	△69
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△47	△3
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△4	△0
受取利息及び受取配当金	△76	△57
支払利息	45	50
持分法による投資損益(△は益)	△51	△32
固定資産除却損	2	2
投資有価証券評価損益(△は益)	11	—
売上債権の増減額(△は増加)	△128	280
たな卸資産の増減額(△は増加)	△187	1,686
仕入債務の増減額(△は減少)	△453	△623
その他	614	330
小計	69	1,379
利息及び配当金の受取額	92	57
利息の支払額	△56	△44
法人税等の支払額	△11	△21
営業活動によるキャッシュ・フロー	94	1,372
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	12	—
有形固定資産の取得による支出	△842	△211
投資有価証券の取得による支出	△5	△0
関係会社株式の取得による支出	△81	—
貸付けによる支出	△7	△11
貸付金の回収による収入	11	5
その他	△5	36
投資活動によるキャッシュ・フロー	△919	△181
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,654	3,040
短期借入金の返済による支出	△3,410	△5,460
長期借入れによる収入	762	1,200
長期借入金の返済による支出	△253	△251
配当金の支払額	△173	△0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△21	△23
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	558	△1,494
現金及び現金同等物に係る換算差額	23	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△243	△304
現金及び現金同等物の期首残高	1,481	1,767
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,238	1,463

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	油脂製品 (百万円)	石化製品 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,156	5,772	8,928	—	8,928
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,156	5,772	8,928	—	8,928
営業利益	110	528	639	(488)	150

(注) 1 事業区分は、当社製品の種類・性質に応じて、油脂製品、石化製品にセグメンテーションしております。

2 各事業の主な製品

(1) 油脂製品……硬化油、脂肪酸、グリセリン、高級アルコール、ロジン誘導体

(2) 石化製品……可塑剤、ベンゼン誘導体、酸無水物

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	油脂製品 (百万円)	石化製品 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,409	3,592	6,002	—	6,002
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,409	3,592	6,002	—	6,002
営業利益又は営業損失(△)	△194	70	△124	(385)	△510

(注) 1 事業区分は、当社製品の種類・性質に応じて、油脂製品、石化製品にセグメンテーションしております。

2 各事業の主な製品

(1) 油脂製品……硬化油、脂肪酸、グリセリン、高級アルコール、ロジン誘導体

(2) 石化製品……可塑剤、ベンゼン誘導体、酸無水物

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

在外連結子会社及び在外支店がありませんので、開示を行っておりません。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

在外連結子会社及び在外支店がありませんので、開示を行っておりません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	アジア	欧州	米州	計
I 海外売上高(百万円)	637	309	99	1,046
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	8,928
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	7.1	3.5	1.1	11.7

- (注) 1 国又は地域は、地理的近接度によって区分しております。
 2 各区分に属する国又は地域の内訳は次の通りであります。
 アジア……………台湾・中国・韓国等
 欧州……………英国・ドイツ等
 米州……………米国・ブラジル
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	アジア・オセアニア	欧州	米州	計
I 海外売上高(百万円)	457	218	56	731
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	6,002
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	7.6	3.6	0.9	12.2

- (注) 1 国又は地域は、地理的近接度によって区分しております。
 2 各区分に属する国又は地域の内訳は次の通りであります。
 アジア・オセアニア……………台湾・中国・韓国等
 欧州……………英国・ドイツ等
 米州……………米国・ブラジル
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。